

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	実施効果		今後の方針		決算額(R1)	決算額(R2)	予算額(R3当初)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生への効果は表れていない	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。					
1	R2～R6	企業ガイダンス開催事業	求職者の就業と企業の人材確保を支援するため、UIターン就職フェアと企業ガイダンスを開催する。	参加企業数(社)	16	0	4. 地方創生への効果は表れていない	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、UIターン就職フェアは中止となる。	3. 事業の継続	県外へ進学した大学生がUターンせず、市外へ流出していく傾向があり、人口対策・経済活性化策として、雇用の場の確保として事業継続の必要がある。	3,095	440	4,227	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
2	R2～R6	勤労者生活安定資金貸付金預託事業	勤労者の生活安定に寄与するため、中央労働金庫と協調して融資を行う。	審査基準に合格した勤労者(人)	3	4	3. 地方創生に効果があった	市と中央労働金庫とが協調して融資を行うことで、勤労者の生活安定に寄与することは、勤労意欲の向上になる。	3. 事業の継続	幅広く市民へ制度の周知を図り、働く者への融資を通じ、勤労者の生活安定に寄与する。	900	2,000	2,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
3	R2～R6	商工業事業資金利子補給支援事業	商工業者が経営安定と事業発展のための資金融資を受けた場合、利子を補給する。	経営安定が図られた商工業者(数)	32	13	3. 地方創生に効果があった	商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。	3. 事業の継続	意欲がある商工業者経営者から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	1,654	1,069	2,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
4	R2～R6	小口資金融資保証料支援事業	資金調達困難な小規模事業者の担保力を補い、零細小口金融の疎通を図る。	経営安定と事業発展が図られた申請者(人)	9	2	3. 地方創生に効果があった	資金調達が困難な小規模事業者の信用力及び担保力の不足を補い、零細小口金融の疎通を図り、経営安定に繋がった。	3. 事業の継続	本制度を利用することで市内企業の経営安定や事業発展に繋がることが期待できるため、継続的に支援する必要がある。	229	70	720	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
5	R2～R6	地域ものづくり企業成長投資支援事業	企業の設備投資を支援し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた企業(社)	6	4	3. 地方創生に効果があった	企業が設備投資に要する経費に対し一部財政支援を行ったことにより、産業の成長基盤の強化が図られた。	3. 事業の継続	企業の設備投資意欲に応じ、企業の経営安定と事業の発展により、企業振興に繋がるため継続的に支援する必要がある。	20,000	14,000	18,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
6	R2～R6	農業後継者支援事業	県立農業大学校へ通学している学生を奨学助成金により支援し、農業の担い手育成の一助とする。	新規認定農業者数(人)	13	8	3. 地方創生に効果があった	後継者不足、担い手減少する中、受給学生の卒業後の就農に繋がっている。	3. 事業の継続	農業後継者の育成を目的とする事業であるため、今後も支援を継続していく。	288	576	576	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
7	R2～R6	環境保全型農業直接支払制度支援事業	減農薬に取り組み、地球温暖化防止・生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う団体を支援する。	実施した地区(地区)	1	1	3. 地方創生に効果があった	環境保全に効果の高い営農活動に対し経済的支援を行うことで、農産物の付加価値の向上(食の安全安心の推進)や販売促進に繋がった。	3. 事業の継続	取組内容や制度について分かりやすく周知を行い、取り組みを実施する農業者を増やしていく。	445	889	1,046	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)		事業費(単位:千円)	第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課				
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生への効果は表れていない	実施効果							
								1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了				今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。			
8	R2～R6	農林業政策推進事業	農林業の振興と6次産業化・事業化の推進を図るため、必要な調査研究を行う。	栽培可能な新作目(種)	1	1	3. 地方創生に効果があった	栽培試験を行い、この地域に適した品種や栽培可能な作物の検証を行うことにより、今後に活かすことができる。	3. 事業の継続	試験栽培を行う期間を決めて取り組み、有望品種となった作物の普及拡大に繋げていく。	1,455	450	595	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
9	R2～R6	南アルプスブランド戦略事業	南アルプスブランドの確立により、農業の付加価値を高め、産地間競争力の強化を図る。	貴陽・皇寿・シャインマスカット・あんぼ柿の出荷量(kg)	558,775	644,627	3. 地方創生に効果があった	中野地区の農地において醸造用ブドウの栽培を行う企業に対し、高性能な機械や資材の導入費用を補助したほか、農産物のPR動画を作成するなど生産支援や販路拡大に向けた取組を実施した。	3. 事業の継続	本市産の果物等の認知も含め、今後の農業の振興・産地化の強化に繋げるため、事業の継続が必要である。	4,451	15,390	21,849	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
10	R2～R6	就農支援事業	農家子弟がリース方式で経営規模拡大のために必要な農業用機械等を導入する時に支援する。	申込をした新規農家子弟(人)	-	2	2. 地方創生に効果があった	農家子弟の経営規模拡大に繋がっている。	3. 事業の継続	本年度より、補助対象に新規参入者を加え経営規模拡大の支援強化を図る。	-	2,347	2,334	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
11	R2～R6	担い手支援事業(地域おこし協力隊支援事業)	都市在住で農業の意欲を持つ者から新たな担い手を育成し、移住者獲得を目指す。	協力隊員数(人)	7	7	3. 地方創生に効果があった	研修終了後も農業研修で習得した技術等を活かし、本市に定住してもらうことにより、農業の担い手不足の解消に繋がっている。また、研修期間中に地域の方と交流を積極的に行っており、地域の活性化にも貢献している。	3. 事業の継続	今後も農業後継者不足解決策として、研修終了後は、本市に定住、就農してもらうように支援していく。	22,829	18,725	36,790	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
12	R2～R6	農業次世代人材投資事業	新規青年就農者の拡大を図るため、経営が安定するまでの最長5年間給付金を支給する。	この事業の対象になった市民等(人)	13	11	3. 地方創生に効果があった	50歳未満で独立・自営業就農者は、経営リスク等もあり、就農へ踏み出せない所もあるが、生活支援等により、新規就農が可能になり、農業の担い手の増加に繋がっている。	3. 事業の継続	今後も、意欲ある就農者へ支援を続けることで、新規就農者の増大を図り、農業の担い手不足の解消に努めたい。	18,000	13,547	15,750	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
13	R2～R6	南アルプスIC新産業拠点整備事業	南アルプスIC周辺の新産業拠点整備事業用地(旧完熟農園跡地)の再開発を図る。 ※用地買収費は除く	①用地交渉を完了した地権者の割合(%) ②事業用地に参入した企業数(社)	①100 ②0	①100 ②0	4. 地方創生への効果は表れていない	コロナ禍の影響により、南アルプスIC新産業拠点への参入企業の募集を延期しているため、直接的な効果には至っていない。	3. 事業の継続	令和3年度に参入企業を選定し、その後具体的な事業構築を進める。令和5年度の開業を目指し、土地利用方針の下でまちづくりの核を創出する。	16,029	16,735	108,243	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室
14	R2～R6	南アルプスIC周辺整備事業	交通利便性に優れ、地域経済の牽引に繋がる可能性の高い南アルプスIC周辺エリアについて、開発可能性を探り、更なる土地利用を図る。	事業用地に参入した企業数(社)	-	0	4. 地方創生への効果は表れていない	令和2年度は、IC周辺における土地利用の可能性調査を実施した段階であるため、直接的な効果には至っていない。	3. 事業の継続	令和3年度以降に、地域・地権者並びに事業者の意向を踏まえて、IC周辺における土地利用の方向性や導入機能、及び事業手法等を定め、着実に事業を進めていく。	-	4,424	25,946	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	実施効果		今後の方針		決算額(R1)	決算額(R2)	予算額(R3当初)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生への効果は表れていない	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。					
15	R2～R6	新規創業者資金借入補助金支給事業	新規に創業する事業者に借入金を補助し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた商工業者(数)	4	7	3. 地方創生に効果があった	商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。	3. 事業の継続	意欲がある商工業者経営者(創業後5年未満)から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	344	333	485	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
16	R2～R6	創業支援事業	地域産業の活性化を図るため、創業支援セミナーやP-1グランプリ(市産果物のビュレを使った新商品のコンテスト)等を開催する。	雇用創出数(件)	17	11	3. 地方創生に効果があった	商工会と連携を図りながら創業支援セミナーを実施し、「個別支援型創業支援テキスト」などを活用して創業を支援する。新規創業者11名に繋がった。	3. 事業の継続	意欲のある女性・若者などが創業・起業を実現できるよう、効果的な支援が必要である。	4,083	1,264	3,904	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
17	R2～R6	南アルプス市産業立地事業費助成金交付事業	企業立地を促進し雇用機会の拡大を図り、地域産業の振興及び市民生活の安定に寄与する。	操業開始企業数(社)	1	1	3. 地方創生に効果があった	企業立地を促進し雇用機会の拡大を図ることで、地域産業の振興と市民生活の安定に繋がった。	3. 事業の継続	工場立地に伴う投資の増加及び経営の安定及び地域経済の活性化と雇用者の拡大も図られており、今後も成果が期待される。	41,681	10,187	-	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
18	R2～R6	企業支援誘致推進事業	企業の工場拡張や企業誘致などの支援を行い、産業経済の活性化を図る。	新規工場立地数(数)	2	2	3. 地方創生に効果があった	積極的な企業訪問などにより企業の動向を把握を行い、市内外企業から今後に向けて新規工場進出や工場増設、新規設備の導入についての相談がある。	3. 事業の継続	企業の市内への進出は、移住・定住や消費活動の促進、雇用の拡大など、地域経済全体の活性化に繋がるため、引き続き効果的な支援が必要。	1,155	1,117	1,932	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	観光商工課
19	R2～R6	南アルプス市フルーツ山麓フェスティバル開催事業	観光の柱である山岳観光と果樹観光を県内外にPRし、市民が楽しめるイベントを夏と秋に開催する。	①市外参加者数(人) ②延べ参加人数(人)	①3,000 ②36,000	①500 ②3,000	3. 地方創生に効果があった	新型コロナウイルス感染拡大防止により、トレッキングツアーやサマーフェスティバル、紅葉祭などは中止になったが、代替イベントとして、ドライブインシアターやオータムフェアなどコロナ禍でも可能なイベントを企画・開催して市内外の方に楽しんでいただいた。	3. 事業の継続	イベントについては、交流人口の増加に繋がるものなので、今後も継続する必要がある。	13,518	2,276	14,703	II 新しいひとの流れをつくる	観光商工課
20	R2～R6	観光プロモーション事業	観光を経済の柱に育てるため、交通アクセスの向上を活かしたプロモーション事業を行う。	ユネスコエコパークガイドマップ配布数(部)	-	18,000	2. 地方創生に相当程度効果があった	東海圏、中京圏を中心に観光PR活動を行った結果、特に静岡県からの観光客が増加し、また、ふるさと納税額も増加した。また、バイふじのくにの取組みにより、静岡県、沼津市や大手百貨店とも新たに交流が始まった。	3. 事業の継続	今秋には中部横断自動車道静岡山梨間開通により、アクセスがさらに向上することから、今後も東海圏、中京圏また長野方面を重点的に観光PR活動を行う。	-	25,105	33,778	II 新しいひとの流れをつくる	観光商工課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	実施効果		今後の方針		決算額(R1)	決算額(R2)	予算額(R3当初)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生への効果は表れていない	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。					
21	R2～R6	ふるさとづくり推進事業	市の魅力に触れ愛着を感じてもらえるような着地型観光を企画する団体を支援する。	県外からの参加者数(人)	37	0	4. 地方創生への効果は表れていない	新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業者による着地型観光ツアーの企画はなかった。	3. 事業の継続	着地型観光は、本市の観光を経済の柱に育てるためには重要な事業であるので、定着するまでは支援は必要である。	746	-	1,000	II 新しいひとの流れをつくる	観光商工課
22	R2～R3	伊奈ヶ湖周辺再整備事業	森林アスレチック等の整備及び駐車場の増設、看板改修を行う。	施設利用者数(人)	21,751	12,833	4. 地方創生への効果は表れていない	令和2年度は森林アクティビティ設計業務を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業工程見直しにより、見送りとなった。	3. 事業の継続	南アルプスユネスコエコパークの拠点施設として活用するための調査研究を行うとともに現状の管理運営上必要な施設の改修を行っていく。	-	-	-	II 新しいひとの流れをつくる	観光施設課
23	R2～R6	シティプロモーション事業	市の魅力を発信し、市の知名度を高めるシティプロモーション事業を行い、交流・定住人口の拡大を目指す。	市ホームページへのアクセス数(上段:トップページ、下段:全体)	224,701件 2,091,037件	313,512件 2,708,327件	3. 地方創生に効果があった	シティプロモーション戦略案の作成、移住定住者へのインタビューやホームページの拡充、プロモーション動画、ポスター製作等、今後のプロモーション活動に向けた準備を進め、プロモーションに関わる意識を高めた。	3. 事業の継続	戦略策定を決定し、来年度以降のプロモーション事業の実施計画を作成する中で、計画的に推進する。	-	8,453	-	II 新しいひとの流れをつくる	秘書課
24	R2～R6	若者世帯定住支援奨励金事業	定住促進を図るため、市内に土地と建物を新築・購入する若者世帯に購入費の一部を助成する。	申請件数(件)	140	120	1. 地方創生に非常に効果的であった	令和元年度同様100件を超える申請があり、若者世帯の移住定住の一助として、非常に効果的であったと思われる。	3. 事業の継続	多くの若者世帯が市内で住宅を購入する流れが続いていることから、今後も周知を図り、若者世帯の定住促進に向けて、事業を継続していく。	32,800	34,500	33,000	II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興室
25	R2～R6	交流定住促進事業	都市住民と定住・移住・二地域居住に関する情報交換を行い、交流定住人口の拡大を図る。	説明会等への参加者数(人)	32	0	3. 地方創生に効果があった	コロナ禍の影響で説明会等の実施・参加ができなかったが、富士の国やまなし移住交流推進協議会等を通して情報提供に努めた。	3. 事業の継続	コロナ禍の影響で足を運んでの説明会参加は難しいが、オンラインでの相談会などへの参加は検討したい。	134	74	432	II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興室
26	R2～R6	空き家バンク事業	空き家の登録・情報提供を行い、定住・移住・二地域居住を促進して地域の活性化を図る。	空き家バンク成約数(件)	13	9	3. 地方創生に効果があった	空き家バンクの成約件数としては平均した数字だった。需要はあるが物件自体の件数が不足しているという状況が続いていると考えられる。	3. 事業の継続	登録数があれば需要自体は期待できる。今後も空き家は増加するので、所有者にどのようにアプローチするかが課題である。	5,952	6,008	6,010	II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興室
27	R2～R6	芦安地区地域おこし協力隊事業	人口減少と高齢化が進む芦安地区に地域おこし協力隊を採用し、地域力の維持強化を図る。	地域活動参加者(人)	140	156	1. 地方創生に非常に効果的であった	コロナ禍ではあったが、できる範囲でイベントやワークショップを立ち上げ、情報収集、発信に努めている。住民とも地区の活動に参加し交流を深めている。また学校との連携により自然学習の一環で講師として派遣依頼があり積極的に活動している。	3. 事業の継続	芦安地区の高齢化と人口減少に伴い、魅力ある自然と文化を継承していくためには、協力隊の新たな発想と行動力が必要である。	11,801	3,979	8,683	II 新しいひとの流れをつくる	芦安窓口サービスセンター

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)		事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課		
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	実施効果	今後の方針	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。	決算額(R1)			決算額(R2)	予算額(R3当初)
28	R2～R6	住宅リフォーム等総合支援事業	住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市内業者によるリフォーム工事の一部を補助する。	リフォーム住宅の申し込み数(件)	60	59	3. 地方創生に効果があった	市民の居住環境の向上と市内産業の活性化に寄与した。	3. 事業の継続	市民の居住環境の向上と市内産業の活性化に効果期待されるため、継続したい。	6,000	5,900	6,000	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	管理住宅課
29	R2～R6	地域子育て支援事業	子育て支援の充実を図るため、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業を実施する。	利用者(人)	6,500	6,500	3. 地方創生に効果があった	子育て支援世帯への支援に効果があった。	3. 事業の継続	今後も子育て世帯への支援のため事業を継続する必要がある。	41,356	47,541	46,796	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
30	R2～R6	子ども用品貸出事業	子育て世帯の負担軽減のため、希望者にベビーベッドとチャイルドシートを無料で貸し出す。	安全に利用できた人(%)	100	100	1. 地方創生に非常に効果的であった	子育て世帯への負担軽減に効果があった。	3. 事業の継続	利用希望者数に応じた事業展開を継続する必要がある。	2,758	3,160	3,793	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
31	R2～R6	子ども医療費助成事業	18歳までの子どもの医療費を助成し、子育て家庭の負担軽減と子どもの保健福祉の増進を図る。	南アルプス市は子育てしやすいまちだと感じている市民の割合(%)	45.2	52.1	3. 地方創生に効果があった	子育て世帯への負担軽減に効果があった。	3. 事業の継続	子ども保健福祉の増進のため事業を継続する必要がある。	344,128	286,601	345,922	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
32	R2～R6	病児・病後児保育事業	子どもの保健福祉の増進を図るため、病児・病後児保育を行う私立保育園を支援し、受入れ自治体に負担金を支出する。	利用者数(人)	300	385	3. 地方創生に効果があった	子育て世帯への支援に効果があった。	3. 事業の継続	今後も子育て世帯への支援のため事業を継続する必要がある。	14,565	18,369	18,170	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
33	R2～R6	児童手当給付事業	子どもの健全育成を社会全体で支えるため、中学生までの児童を養育している者に手当を支給する。	支給した児童の割合(%)	98	99	3. 地方創生に効果があった	児童の養育者への支援に効果があった。	3. 事業の継続	今後も児童養育者への支援のため事業を継続する必要がある。	1,183,326	1,153,950	1,218,810	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
34	R2～R6	新生児おむつ代支給事業	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、乳児の紙おむつ等の購入を補助する。	子育てが楽しいと回答する母の割合(%)	90.7	91.2	3. 地方創生に効果があった	乳幼児期のオムツは生活用品の出需品であり、おむつ代の支給事業は子育てしている家庭にとって、経済的支援の一助となっており効果的な事業である。	3. 事業の継続	子育てしやすい環境として、子育て中の家族の経済的負担軽減の一助であり継続していく必要がある。	11,485	11,826	12,824	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	健康増進課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)			事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	実施効果		今後の方針	決算額(R1)	決算額(R2)	予算額(R3当初)			
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生への効果は表れていない	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。							1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了
35	R2～R6	男女共同参画啓発事業	男女共同参画社会の必要性について理解を深めてもらうため、啓発活動を行う。	男女共同参画の推進が重要だと思う市民の割合(%)	64.5	64.7	3. 地方創生に効果があった	コロナ感染拡大防止に伴い、様々なイベントが中止になったため、情報誌のページを増やしたり、のぼり旗を購入し、市民に向け啓発に努めた。また、職員研修を実施し、理解を深めてもらった。	3. 事業の継続	男女共同参画社会の推進のためには、一人ひとりの意識啓発に努めていくことが重要であり、今後も継続して実施すべき事業である。	169	222	312	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
36	R2～R6	ハーモニーフォーラム開催事業	男女共同参画社会の実現に向け、市民の理解と関心を深めるため、フォーラムを開催する。	男女共同参画の推進が重要だと思う市民の割合(%)	64.5	64.7	3. 地方創生に効果があった	ハーモニーフォーラムは、コロナ感染拡大防止に伴い、ハーモニープラン推進委員と協議の上、中止とした。ただし、推進員の発表の場でもあるため、情報誌のページ数を増やし取り組みを掲載し、市民にむけて啓発を実施した。また、川柳・標語を募集し、小学生から一般まで、広く呼びかけ、表彰した。その作品を掲示や情報誌等に掲載した。さらに、市内教職員向けに、理解を深めるための資料を作成した。	3. 事業の継続	ハーモニーフォーラム開催事業は、市民に向けた、男女共同参画推進状況を一番身近に感じることができる場である。また、普段、聞くことができない講師等の話などを聞く機会であるため、継続して実施すべき事業である。	190	166	233	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
37	R2～R6	人権擁護委員活動事業	人権相談や啓発を行う人権擁護委員の活動を支援する。	相談会に訪れて満足された市民の数(人)	(相談者なし)	(相談者なし)	3. 地方創生に効果があった	コロナ感染拡大防止にともない、様々なイベントが中止になってしまったが、12月には人権週間として特設相談会の開設や、市内の商業施設前での啓発に努めた。	3. 事業の継続	人権擁護委員の活動は、人が幸せに生活するために必要な権利を守るため、相談業務や人権教室等を実施している。その活動を広く市民に向けて周知する必要があるため継続して実施する事業である。	90	186	177	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
38	R2～R6	防災リーダー養成講座協働事業	地域防災力の強化を図るため、地域防災活動を普及啓発・指導できる防災リーダーを育成する。	①市防災リーダー養成講座修了者数(人) ②甲斐の国防防災リーダー養成講座修了者数(人)	①40 ②5	①64 ②5	3. 地方創生に効果があった	地域防災力向上の核となる人材の育成であり、防災を始めとし地域の活性化にも繋がる可能性がある。	3. 事業の継続	引き続き、地域で活躍できるリーダーを育成していく。	125	126	222	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	防災危機管理課
39	R2～R6	子ども若者ささえ愛基金事業	子ども及び若者の未来を応援するために活動している団体等に助成金を交付する。	参加人数(人)	-	2,246人	3. 地方創生に効果があった	子ども食堂や学習支援、交流体験活動などに取り組む9団体の運営費の助成を行ったことで、一人ひとりに応じた安心の場を創設でき、場づくりに参加した子どもの孤立を防止することができた。	3. 事業の継続	子どもたちの孤独孤立の防止が社会問題となっており、子どもの居場所の確保が必要であるので、居場所づくりの機運の醸成を図り、居場所づくりの裾野が広がるよう努める。	-	731	1,300	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)		事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課		
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	実施効果	今後の方針	決算額(R1)	決算額(R2)	予算額(R3当初)				
														1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生への効果は表れていない	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了
40	R2～R6	生活支援体制整備事業	単身や夫婦のみの高齢者世帯や認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、ボランティア等の生活支援サービスを担う事業体と連携をしながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を図る。	①生活支援コーディネーター(人) ②協議体の設置数(箇所)	①2 ②16	①2 ②16	3. 地方創生に効果があった	令和3年4月1日現在、市内に46の第3層協議体が創設されており、各地域の課題やニーズに沿った活動を行っている。活動は、住民による外出支援・生活支援・百歳体操・見守り・居場所づくりなどさまざまな支えあいの活動を行っており、高齢者の生きがいづくりにも繋がっている。	3. 事業の継続	地域の課題やニーズに対する活動を行う第3層協議体の市内全域での創設を推進するとともに、現在活動を行っている第3層協議体を支援していく。	7,926	8,970	10,895	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	介護福祉課
41	R2～R6	CSW配置事業	地域の身近な相談支援機関として、個別支援や様々な地域課題の解決に向けた取り組みをコーディネーターをする専門員としてコミュニティソーシャルワーカーを配置する。	相談件数(件)	内訳 135件 (新規) 1,228件 (継続)	内訳 597件 (新規) 1,491件 (継続)	3. 地方創生に効果があった	長引くコロナ禍の影響もあり相談件数も飛躍的に伸びた。特に生活困窮に関する相談件数が増加した。そのよう中、専門的な課題がある188人を市の相談支援機関へ繋げることが出来た。また、民生委員や協議体などと連携を図るなかで身近な地域でのワンストップ相談を実施することが出来た。	3. 事業の継続	住民の身近や地域において制度や分野で区切らず困りごとを丸ごと受け止め、また、専門的な課題は市の専門機関へつなげる役割を負うCSWは、横断的、重層的な福祉総合相談体制を推進するために必要な役割を担っている。地域で困っている方に寄り添い課題に手が届くよう本事業は継続実施する必要がある。	25,000	25,000	25,000	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課
42	R2～R6	幸せ実感 南アルプス市健康リーグ事業	健康からまちづくりを推進し医療費の抑制につなげるため、補助金事業とポイント制によるウォーキング事業を通じて健康意識の高揚を図る。	お買物券取得率	68.32%	82.84%	3. 地方創生に効果があった	歩くことによって健康ポイントが付与されお買物券と引き換える。市内の健康リーグ加盟店で利用でき地域の貢献に繋がる。	3. 事業の継続	市民の健康づくりに取り組む団体・個人へ計測して支援する必要がある。	7,007	9,136	9,828	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
43	R2～R6	健診(検診)事業	疾病を早期に発見し早期治療につなげること及び更なる健康の増進をはかるため、各種健診(検診)を実施する。	①健診申し込み延べ人数(人) ②健診申し込み実人数(人)	①72,311 ②20,806	①67,997 ②19,818	3. 地方創生に効果があった	健診申込数は前年度比で減少したものの、市民一人ひとりが健診結果から自らの健康状態に関心を持ち、生活習慣を見直し、生活習慣病の発症を防ぐためには必要な事業である。	3. 事業の継続	生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組み、健康の保持・増進に繋げる。	219,826	209,891	237,198	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
44	R2～R6	救急医療体制整備運営支援事業	休日夜間の当番医の日程調整等の業務を中巨摩医師会に委託し、救急医療体制を確保する。	休日夜間救急医療受診人数(一次救急)(人)	4,259	2,609	3. 地方創生に効果があった	市民の救急医療受け入れ体制を確保することで、市民が安心して医療が受けられることに繋がる。	3. 事業の継続	地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	1,598	1,591	1,585	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧（令和2年度実績）

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	(参考)本事業における成果指標			R3評価結果(R2実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R1)	実績値(R2)	実施効果		今後の方針		決算額(R1)	決算額(R2)	予算額(R3当初)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生への効果は表れていない	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。					
45	R2～R6	救急医療確保対策事業	救急医療整備のため、中巨摩医師会へ在宅型急患事業の委託、市内二次救急病院へ補助金交付を行う。	休日夜間救急医療受診人数(一次救急)(人)	4,259	2,609	3. 地方創生に効果があった	医師会への委託料・不採算の深夜帯を担う3病院への運営支援を行うことで地域の救急医療体制の確保を図る。	3. 事業の継続	地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	36,755	38,038	37,736	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
46	R2～R6	交通政策推進事業	市民の足としての公共交通を確立し、高齢者等の外出機会の創出と地域の活性化を図る。	①利用者(人) ②走らせた本数/日(本)	①52,763 ②50	①54,394 ②50	3. 地方創生に効果があった	毎年度、利用者が増加している。特に通勤通学者の利用が伸びている。	3. 事業の継続	コミュニティバスを含め、本市に適した公共交通網を整備していく必要がある。	92,634	104,982	118,694	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課
47	R2～R6	路線バス支援事業	生活に必要なバス路線を維持するため、自主運営バス業務を委託し、赤字バス路線事業を補助する。	過去1年間の路線バス利用者(%)	12.3	12.9	3. 地方創生に効果があった	支援事業の実施によりバス路線が維持され、市民生活の利便性が図られた。	3. 事業の継続	バス利用者を増やすためのPR活動等を行い、安定したバスの運行の確保に努めていく。	12,651	14,305	14,006	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課